



# ふじさんネットワーク

FUJISAN  
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.22



沼津市井田

## 富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

## 目次

Contents

1. 富士山勉強会
2. 富士山の世界文化遺産登録を目指して
3. 富士山エコレンジャー
4. 山頂の光景

## 1 富士山勉強会

最近話題の「エコツーリズム」について基礎知識を学ぶため、勉強会を開催しました。

**1. 日時** 平成18年12月2日(土) 13時30分から16時

**2. 会場** 沼津労政会館3階ホール

**3. 主催** ふじさんネットワーク、静岡県

**4. 内容** (1)主催者あいさつ 静岡県観光コンベンション室 白井 満 室長  
ふじさんネットワーク 土 隆一 会長

### (2)基調講演

「目からうろこのエコツーリズム」

講師 真板 昭夫 氏

(NPO法人日本エコツーリズム協会理事、京都嵯峨芸術大学芸術学部 観光デザイン研究センター長)

### (3)エコツーリズムの推進について

環境省関東地方環境事務所 国立公園・保全整備課

自然保護官 樋口 享軌 氏



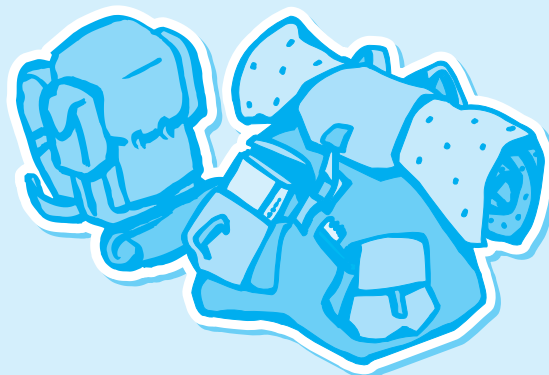
真板 昭夫 講師



樋口 享軌 氏



会場の様子



## 2 富士山の世界文化遺産登録を目指して (静岡県からの) お知らせ

富士山が世界文化遺産としての価値を持っていることを、歴史・文化・信仰・自然など様々な面から検証するため、専門家や有識者による学術委員会で審議・検討を進めてきた「暫定リスト素案」が完成しました。

日本の「暫定リスト」(※1)入りを目指し、静岡・山梨両県知事により国(文化庁)に提出(11月10日)しました。



【学術委員会】



【「暫定リスト素案」を国に提出】

(※1 日本の世界遺産候補であることをユネスコに対して示すリスト。少なくとも登録推薦を行う1年前までにユネスコに提出する。)

### (1) 登録に向けた今後のスケジュール

#### 暫定リスト登載

国では、文化審議会文化財分科会世界遺産特別委員会の審議を経て、関係省庁が協議のうえ「暫定リスト」追加候補資産を決定し、ユネスコ世界遺産センターに提出します。その後、ユネスコ世界遺産委員会が「暫定リスト」追加候補資産を正式に決定します。

#### 推薦書提出

県、市町村が中心となり、世界遺産推薦書案を作成します。国はこれをもとに推薦書を作成し、ユネスコ世界遺産センターに提出します。

#### 現地調査

推薦書が受理されると、ユネスコの諮問により、イコモス(※2)が推薦書に基づき現地調査を行い、補完資料の作成や保護管理体制などについて必要な調整を行います。

(※2 国際記念物遺跡会議。各国から推薦された物件の調査を専門的な見地から行う。)

#### 世界遺産登録

現地調査やその後の審議結果を踏まえ、ユネスコ世界遺産委員会において、最終的に登録決定されます。



## (2)「暫定リスト素案」の概要

### 資産名称 富士山 (Mount Fuji)

#### 概要

富士山は、日本列島の中央部に位置していることから、古くから周辺を多くの人々が頻繁に行き来していた。標高3776mの日本一の高さを誇る独立峰で秀麗な山容を持つ円錐型の玄武岩質成層火山であり、大量の溶岩流出等により形成された広い裾野に展開する数多くの溶岩洞穴群・溶岩樹型群や湧水群のほか、広大な原始林などの豊かな自然が存在する。

古来、人々は、富士山の圧倒的な存在感から神聖さと崇高で畏敬の念を起こさせる壮大な美を感じ、多様な信仰の場として崇拝してきた。また、広大な裾野から立ち上がる雄大なその姿は、創造的な優れた芸術作品を生む母体として多くの人々に愛され続けている。

さらに、広大な裾野では、人為的な管理が行われた草原等の自然を活かした土地利用がみられ、自然と人間の共生を継承してきている。



富士山は、長く遥拝の対象として神聖視され、平安時代初期(9世紀)には、山麓に富士山の噴火を鎮めるための「浅間神社」が建てられた。

その後、平安時代後期(11世紀)には修験道の道場となり、室町時代には村山口(大宮口)、吉田口などの登山道も開かれ、富士山は登拝する山として一般庶民に広く知られるようになった。それに伴い、各登山道には登拝者を宿泊させ、登拝前の神事を行い、登拝に必要な準備の世話をする「御師」や「坊」が整えられた。

近世になると南麓の村山口(大宮口)や須山口には修験道の先達にともなわれた登拝者が多くやってきた。一方、室町時代末期に現れた長谷川角行を開祖とする「富士講」が、江戸時代中期、江戸を中心に大いに盛んになり、北麓の吉田口などでは以前にも増して多くの人々が登拝するようになった。

富士山は麓から山頂に向かい、俗界を表す「草山」、俗界から神の世界への過渡部分である

森林限界までの「木山」、火山礫で覆われた山頂までの神仏の世界であると共に、死の世界を意味する「焼山」に区分されている。富士登拝とは、俗界から死の世界を往復することによって、この世の罪と穢れを消すことを意味した。このような独特の信仰登山の様式は、今日においても形態を変えながらお命脈を保っており、毎年7月8月の夏季を中心として多くの登山者が訪れている。また、現在でも登山道周辺には信仰に係わる祠、石碑、各種の祭礼などがみられる。

一方で富士山は、雄大な独立峰としての山体の美しさ、噴火や山頂に見られる積雪等の俗世間から超絶した風景に加え、三保松原などに代表される展望地が多々あることにより、古くから多くの芸術作品を生む母体ともなってきた。日本最古の歌集である「万葉集」をはじめ、古くから和歌や芭蕉、蕪村の俳句など多く詩歌の題材となってきたほか、平安時代後期（11世紀）に制作された「聖徳太子絵伝」などの富士山を描いた数多くの絵画作品がある。特に江戸時代に葛飾北斎や歌川広重などによる多くの浮世絵には、様々な視点から望む富士山の姿が活写されている。



これらの芸術作品は、海外にも広く知られ、影響を与えてきた。また、近代以降も小説、詩歌、絵画、写真などのモチーフとなり、文化創造の源となっている。

このように富士山は、自然崇拜に端を発し、仏教や修験道の影響の下に日本人の精神活動において欠くことのできない場であるとともに、芸術を育む母体としても重要な役割を果たし、自然と人間との独特の関係を築き上げてきた。

さらに、富士山は人々の精神的拠り所となり、外国にも日本の象徴と認識されるようなかけがえのない唯一の存在として、今日も生き続けている希有な文化的景観である。

## 3 富士山エコレンジャー

### (1) 富士山エコレンジャー連絡会

富士山エコレンジャーの個々の資質向上を図るため、エコレンジャーとして活動している団体の代表が平成18年6月から3回にわたり検討会を開催しました。

その結果、「富士山エコレンジャー連絡会」を発足し組織化を図るとともに、今まで以上に充実した講習会を開催していくことになりました。同連絡会はエコレンジャーを会員とし、その所属団体から1名を幹事として、選出します。

また連絡会を運営するにあたり、事務局業務を「NPO法人富士山自然の森づくり」にお願いし、会長に「富士宮自然観察の会」の仁藤浪氏を選出しました。

事務局

NPO法人富士山自然の森づくり

富士宮市万野原新田2901-3  
電話 (FAX) 0544-27-1566

### (2) 富士山エコレンジャー講習会

富士山エコレンジャー連絡会では、平成18年8月から2回にわたり、平成19年度の講習会を検討しました。

その結果、下記のとおり12月から講習会を開催することになりました。

#### ① 概要

18科目(40単位(1単位1時間))の講習を平成19年6月まで14回実施する。基礎講座(座学)と実技講座をそれぞれ必須科目と選択科目に分け、経験の有無や関係資格取得の有無などを考慮し、必要単位を取得した者に認定証を交付する。

#### ② 基礎講座

|      | 科目名 | 単 位   | 内 容 |                  |
|------|-----|-------|-----|------------------|
| 必須科目 | 1   | 自然関係① | 1.5 | 地形、地質、噴火、溶岩      |
|      | 2   | 自然関係② | 1.5 | 雪、雨、霧、雷、地下水、湧水   |
|      | 3   | 自然関係③ | 1.5 | 植物(木本、草本、森林、生態系) |
|      | 4   | 自然関係④ | 1.5 | 動物(哺乳類、野鳥、昆虫)    |
|      | 5   | 歴史関係① | 1.5 | 生活、信仰、文化、産業、芸術   |
|      | 6   | 法令関係  | 4.5 | 自然公園法、森林法、鳥獣保護、他 |
|      | 7   | 自然環境  | 2   | 現状、負荷、温暖化、予測、対応  |
|      | 8   | 人為環境  | 2   | ごみ、不法投棄、し尿、侵入、他  |
|      | 9   | 活動基本  | 2   | 富士山憲章、対話、知識、体力、他 |

|      | 科目名 | 単 位   | 内 容 |                |
|------|-----|-------|-----|----------------|
| 選択科目 | 1   | 自然関係⑤ | 1.5 | 気象(気温、気圧、湿度、他) |
|      | 2   | 歴史関係② | 1.5 | 登山、観光、行政       |
|      | 3   | 関連事項  | 1.5 | 活動に関連する諸項目     |

## ②実技講座

|      | 科目名 | 単 位  | 内 容 |                |
|------|-----|------|-----|----------------|
| 必須科目 | 1   | 登山実践 | 3   | 安全登山、注意箇所、他    |
|      | 2   | 危機管理 | 2   | 気象、けが、病気、事故、他  |
|      | 3   | 救命救急 | 3   | 応急措置、心肺蘇生法、搬送法 |
|      | 4   | 討論発表 | 4   | グループ討議・発表      |

|      | 科目名 | 単 位   | 内 容 |               |
|------|-----|-------|-----|---------------|
| 選択科目 | 1   | 植物観察  | 1.5 | 5合目周辺の植物観察    |
|      | 2   | 野鳥観察  | 1.5 | 5合目周辺の野鳥観察    |
|      | 3   | ごみ分別  | 1.5 | ごみ収集と分別調査     |
|      | 4   | 来訪者対話 | 1   | 問合せ、お願い、案内、説明 |

## ③第1回講習会の様子

平成18年12月10日(日)に富士市の静岡県富士総合庁舎の会議室において、自然関係①、②、③、④の講習会を開催しました。

申込者29人のうち19人が受講しました。(残りの申込者は2月10日(土)に受講)



講習会の様子

午前中は、静岡大学名誉教授の土隆一ふじさんネットワーク会長に、「富士山の地学を学ぶ」と題して、富士山の地形・地質と火山活動、降水・地下水と湧水について講義をしていただきました。

午後は、富士山自然誌研究会の菅原久夫会長に「富士山の植生と植物」、静岡県森林整備室の増田章二室長に「富士山の動物」について講義をしていただきました。



菅原 久夫 氏



増田 章二 氏

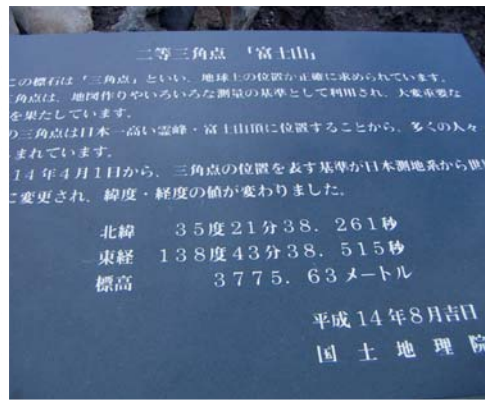


## 4 山頂の光景

頂上に登らないと見られない山頂の光景です。



サブミリ波観測望遠鏡跡



3775.63mの表示



剣が峰にある二等三角点



金明水付近にある水溜り

ふじさんネットワーク情報誌の表紙を飾る富士山の写真や、富士山で生きる動植物の写真を募集しています。これらの写真を御提供頂ける方は、ぜひ事務局まで御連絡下さい。

●メールマガジンへの登録をお願いします。<http://www.fujisan-net.gr.jp/mailling/index.asp>



2007年1月 vol.22

編集・発行／**ふじさんネットワーク事務局**

静岡県環境森林部自然保護室内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 電話054-221-3776 ファックス054-221-3278

E-mail [3776fujii@pref.shizuoka.jp](mailto:3776fujii@pref.shizuoka.jp) URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

**ふじさんネットワーク**

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 土 隆一  
(静岡大学名誉教授)
- 会員数 401団体・個人  
(H19.1.1現在)